

水產廳 業務紹介 (機電系)

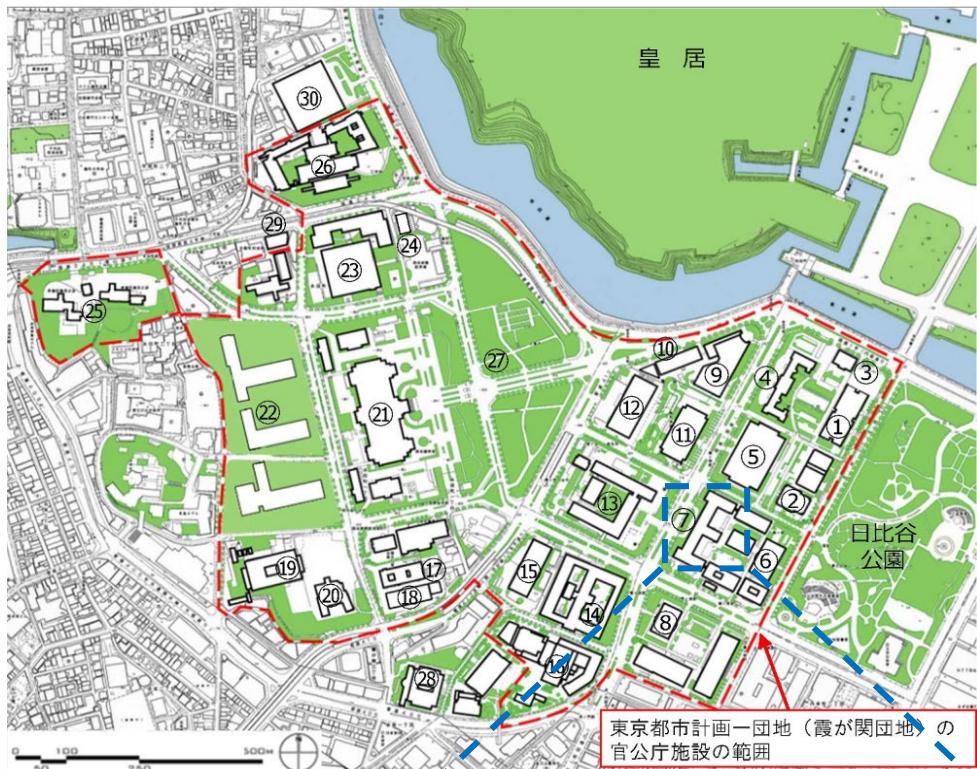
Japan Fisheries Agency



農林水産省（水産庁）の掲げるビジョン

わたしたち 農林水産省は、
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産省（本省）の組織

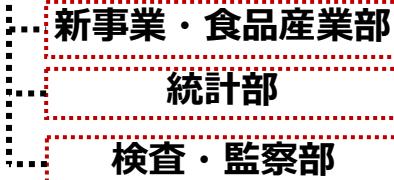


農林水産省 (本省)

- ❖ 霞ヶ関駅徒歩 1 分
- ❖ 地上 8 階建
(水産庁は最上階)
- ❖ 延床面積約 8 万 m²
- ❖ コンビニ・食堂有



大臣官房



消費・安全局

輸出・国際局

農産局

畜産局

経営局

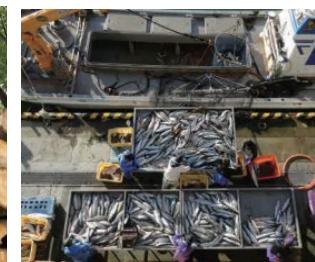
農村振興局

農林水産技術会議事務局

林野庁

水産庁

- ❖ 農林水産省の定員は 2 万人弱
- ❖ 本省に 7 つの内局と 3 つの外局等を設置
- ❖ 全国に地方農政局や検疫所等を設置
- ❖ 「食」と「環境」を核として、フィールドは地方から世界まで幅広い



水産庁の組織・沿革

水産庁
(本庁:農林水産省最上階)

漁政部



【Keywords】水産改革、新規就業者対策、水産流通適正化法、積立ぶらす...etc.

明治14年（1881年）農商務省（農務局）設置

大正14年（1925年）農林省（水産局）、商工省に分割

昭和18年（1943年）商工省の事務を一部承継し、農商省（水産局）設置

昭和23年（1948年）水産局を水産庁（外局）に改組

平成13年（2001年）水産庁研究所が独立行政法人（現 水産研究・教育機構）として分離

水産庁は農林水産省の外局として現在に至る

水産庁長官

水産庁次長

- ❖ 水産庁の定員は約1000名
- ❖ 本庁に4つの部、30以上の課室を設置
- ❖ 全国6力所に漁業調整事務所を設置

資源管理部



【Keywords】新たな資源管理、TAC、IQ、漁業権、遊漁、漁業の許認可、商業捕鯨、国際交渉、外国漁船対策...etc.

増殖推進部



【Keywords】漁船の省エネ化、原発事故からの復興、資源評価、CITES、養殖業の成長産業化、ウナギの資源管理、栽培漁業...etc.

漁港漁場整備部



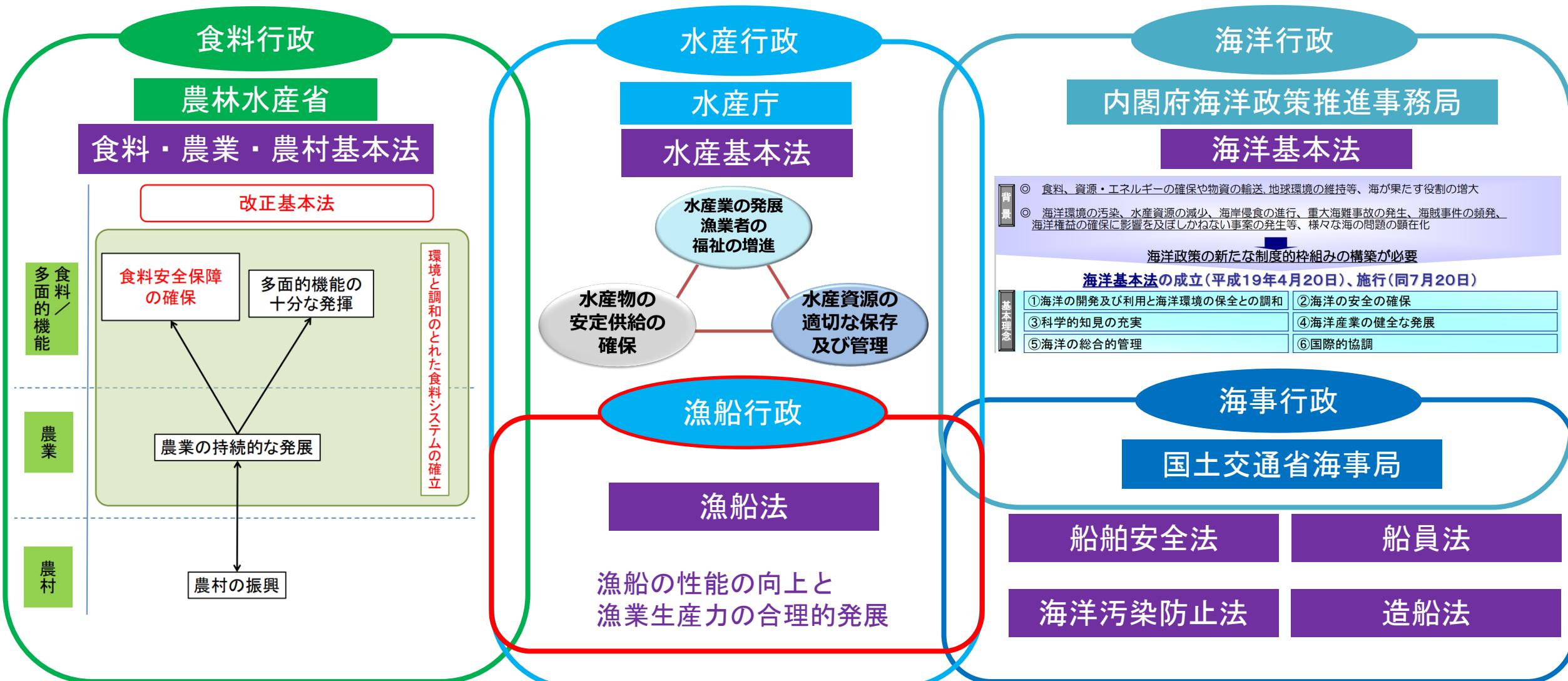
【Keywords】公共事業、施設整備、魚礁整備、海業、磯焼け対策、浜プラン...etc.

漁業調整事務所（6ヶ所）

北海道（札幌市）
仙台（仙台市）
新潟（新潟市）
境港（境港市）
瀬戸内海（神戸市）
九州（福岡市）



～漁船行政の位置づけ～



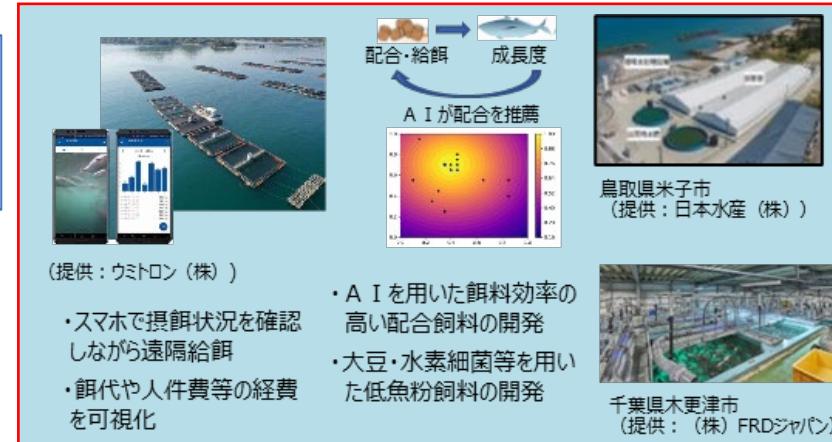
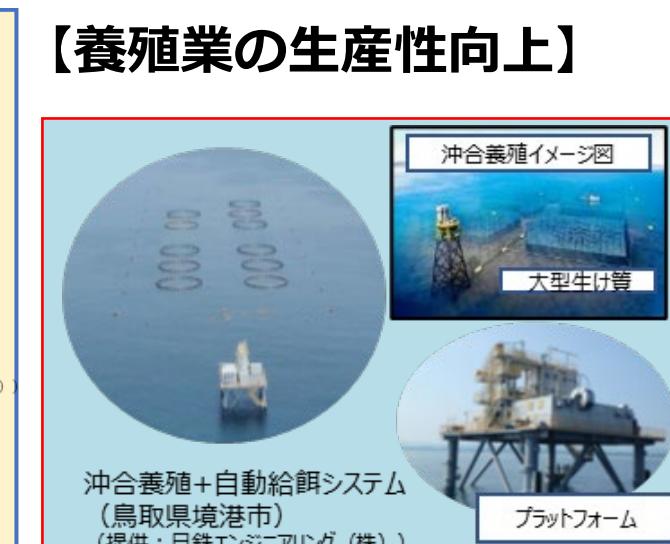
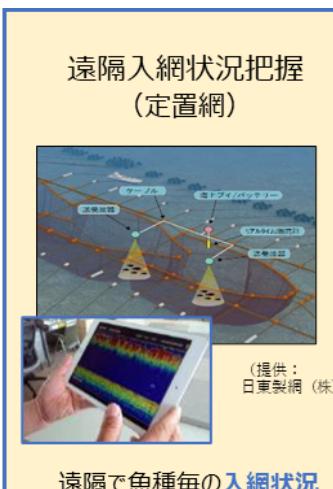
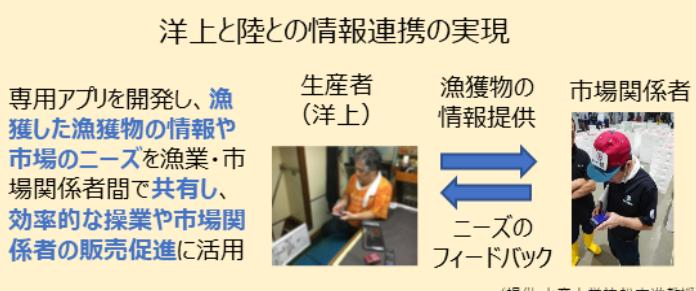
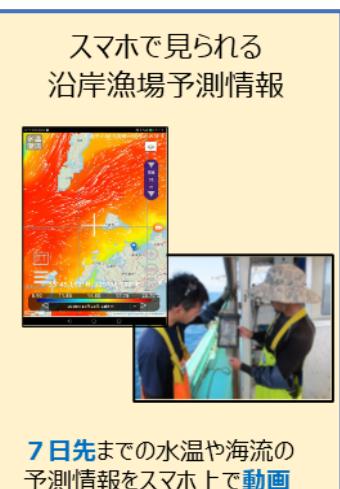
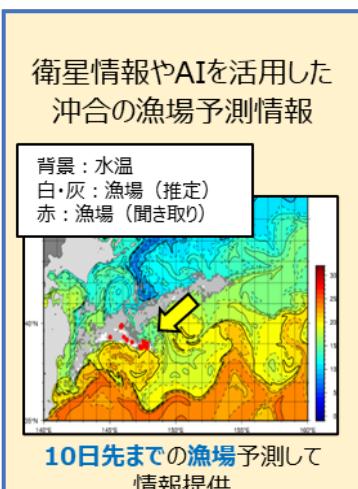
＜業務の例＞その1：スマート水産業

イノベーションによる水産業の生産性向上が喫緊の課題

- ❖ スマート水産業※の取組みが様々な場所で進行
- ❖ 技術開発の成果の導入・普及やさらなる高度化が重要

※AI（人工知能）・ICT（情報通信技術）・ロボット等の先端技術を活用して、水産資源の持続的な利用や水産業の成長産業化を実現する取組み

【漁業の生産性向上】



＜業務の例＞その2：漁船のゼロエミッション化

温室効果ガスを排出しない漁船の開発を推進

- 電気や水素の貯蔵の難しさに起因する航行距離の問題などから、2030年に向けて、まず養殖等の小型沿岸漁船での利用を想定し、具体的な技術の検討・試作試験の推進
 - ① 水素燃料電池を動力源とした養殖給餌漁船（実証船）を開発
 - ② 今後の水素燃料電池船導入に向けた課題の抽出・整理



＜業務の例＞その3：漁業取締船・漁業調査船の設計の検討

- ・日本の排他的経済水域の漁業管理、水産資源調査のため、水産庁は10隻の船舶を所有。
- ・水産研究・教育機構は調査船・練習船9隻を所有。
- ・新船の建造監督や建造後の不具合に関する問題解決に向けた技術的調整を実施。

漁業取締船



漁業調査船



鳳翔丸 (R4.3竣工)



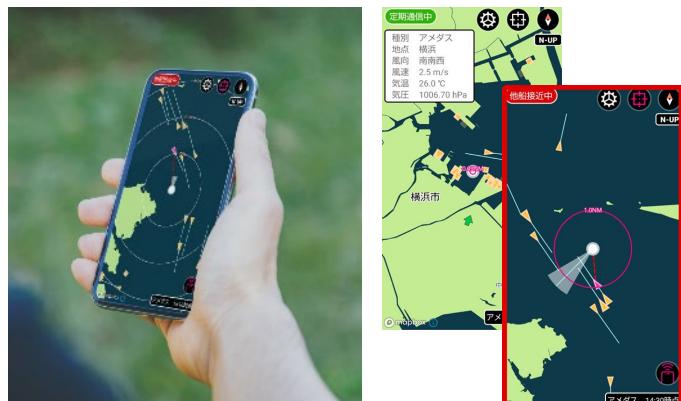
蒼鷹丸 (代船候補)



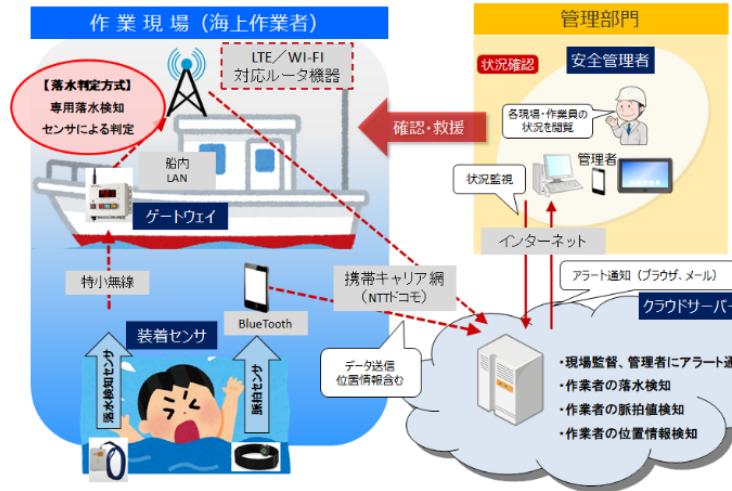
＜業務の例＞その4：漁船の操業安全の検討

漁船の安全性を高め、魅力を向上させる

- ・AISアプリの現場実証
- ・AISアプリの対象エリアの拡大支援

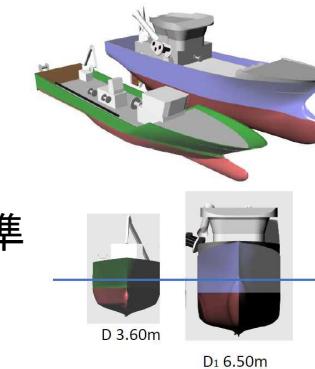


- ・落水者救助支援システムの開発



その他

- ・漁船の安全のための
ケープタウン協定
等の漁船に関する国際基準
関係の調整業務の実施



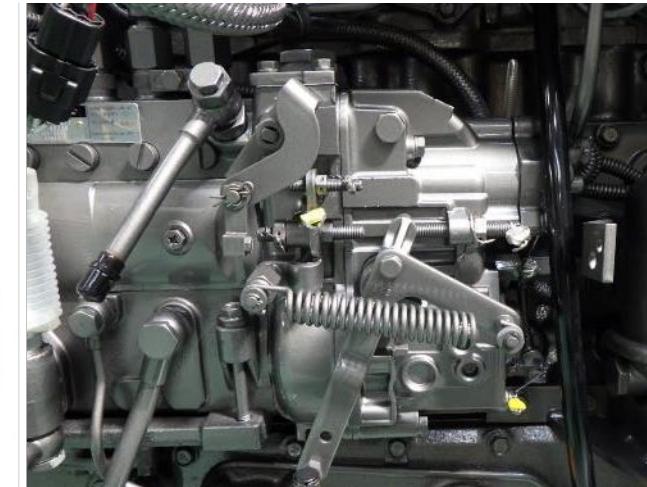
＜業務の例＞その5：漁船の建造調整、検査・試験

漁船の建造や改造等の許可、エンジン等の性能検査

エンジン検査



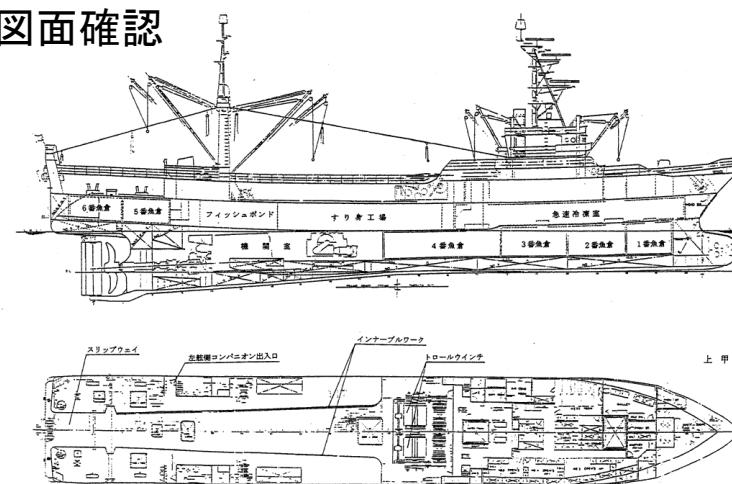
※ テスト台はイメージです



海上公試



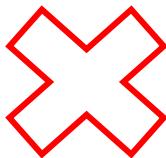
図面確認



農林水産省が歓迎する人材～農林水産省の掲げるビジョンから～

わたしたち 農林水産省は、
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて**全力で行動**します。

◆周囲の人と力を合わせ、
仕事をやり遂げることができる人物



◆新たな課題にも
積極的に取り組むことができる人物



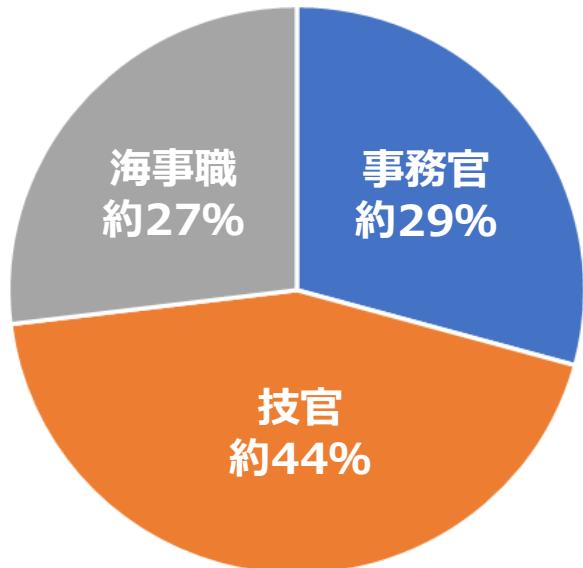
試験の合格順位よりも面接を重視し、
出身大学や専攻分野は関係ありません。



一千人に上る多様な職員が力を合わせてミッションを遂行

- ❖ 水産庁の定員数は1,027人であり、官種は事務官・技官・海事職に分けられる
- ❖ 事務官は文系、技官は理系の多様な教育機関の卒業生が多く、民間企業の経験者も
- ❖ それぞれの専門性・特性や本人の希望を勘案し、配属先を決定

【官種別の割合】



【業務の一例】

- ❖ 事務官：人事、経理、会計、広報、施策の企画立案・実施
- ❖ 技官：資源管理、海洋環境、スマート化、施策の企画立案・実施
- ❖ 海事職：外国漁船等の漁業取締り、資源調査船による調査

機電系技官のキャリアパス

機電系のポストを起点としつつ、豊富なキャリアパスの選択肢がある

- ❖ 数年毎の異動で様々な業務を経験
- ❖ 4つの部で30を超える課室が存在
- ❖ 他省庁や在外公館、法人等に出向も可能
- ❖ 多種多様なキャリアパスが存在

【水産庁の本庁内の4つの部】

漁政部



【Keywords】水産改革、新規就業者対策、水産流通適正化法、積立ぶらす...etc.

資源管理部



【Keywords】新たな資源管理、TAC、IQ、漁業権、遊漁、漁業の許認可、商業捕鯨、国際交渉、外国漁船対策...etc.

【課室の中の役割（役職順）】

係員クラス

係長クラス

課長補佐クラス

室長クラス

課長クラス

増殖推進部



【Keywords】漁船の省エネ化、原発事故からの復興、資源評価、CITES、養殖業の成長産業化、ウナギの資源管理、栽培漁業...etc.

漁港漁場整備部



【Keywords】公共事業、施設整備、魚礁整備、海業、磯焼け対策、浜プラン...etc.

機電系技官のキャリアパス～8年目 中堅職員Aさんの場合～

大学卒業後、採用区分国家総合職（農業科学・水産）で入省

入省

H30.4 水産庁増殖推進部 研究指導課海洋技術室 生産技術班 

（2年）

漁船に関する事業・制度や検査
IMO（国際海事機関）対応
技術開発事業の執行

R2.4 山口県農林水産部水産振興課経営体育成班 

5年目

（2年）

補助金全般、
叙勲褒章等、浜プラン
団体対応（県漁協、漁青連、県漁協女性部）

R4.4 水産庁資源管理部国際課国際協定第1班 

（2年半）

まぐろ交渉（CCSBT）、
底魚交渉（SIOFA、SEAFO）

7年目

R6.10 水産庁資源管理部漁業取締課漁船管理班 

漁船法、漁船の建造許可、
漁業無線やブロードバンド対応、
飛翔体対応



機電系技官のキャリアパス～16年目 中堅職員Bさんの場合～

工学系大学院在学中、採用区分I種（現：総合職）理工Iで入省

入省

H22.4 水産庁増殖推進部 研究指導課海洋技術室 生産技術班 

係長昇任

H25.5 水産庁資源管理部国際課海外漁業協力室

↓ (3年) 漁船に関する事業・制度や検査
(約3年) 東日本大震災復興対応（漁船の建造調整）

太平洋島しょ国のEEZで操業する日本漁船の入漁交渉、
海外漁業協力、取締船でパラオへ。

5年目

H28.4 農林水産省出向（大臣官房国際部国際地域課） 

他局へ出向

↓ (1年) 東南アジアとの農業協力、RCEP等の経済連携

H29.4 水産庁資源管理部管理課漁船管理班 

↓ (約2年) 漁船の建造許可、漁業無線やブロードバンド対応、飛翔体対応

専門官昇任

10年目

R.2.4 農林水産省出向（食料産業局輸出先国規制対策課） 

課長補佐昇任

↓ (1年) EU向け水産物輸出のための加工施設、漁船の認定業務のため、南アフリカ、ナミビアへ。

第二子誕生時に2か月の育児休業。復帰後はフレックス勤務。

R.3.4 水産庁資源管理部国際課海外漁業協力室 課長補佐 

↓ (1年半) 二国間ODA、日本漁船の入漁確保、東南アジア漁業開発センターへの支援

第三子誕生時に1.5か月の育児休業。復帰後はフレックス勤務。

R.4.10 水産庁漁政部 加工流通課 水産物貿易対策室 課長補佐 

↓ (約3年) FTA・EPA交渉、水産物の輸入担当

R.7.8 JETRO ニューヨーク事務所 農水担当ディレクター 

他団体へ出向・
海外転勤

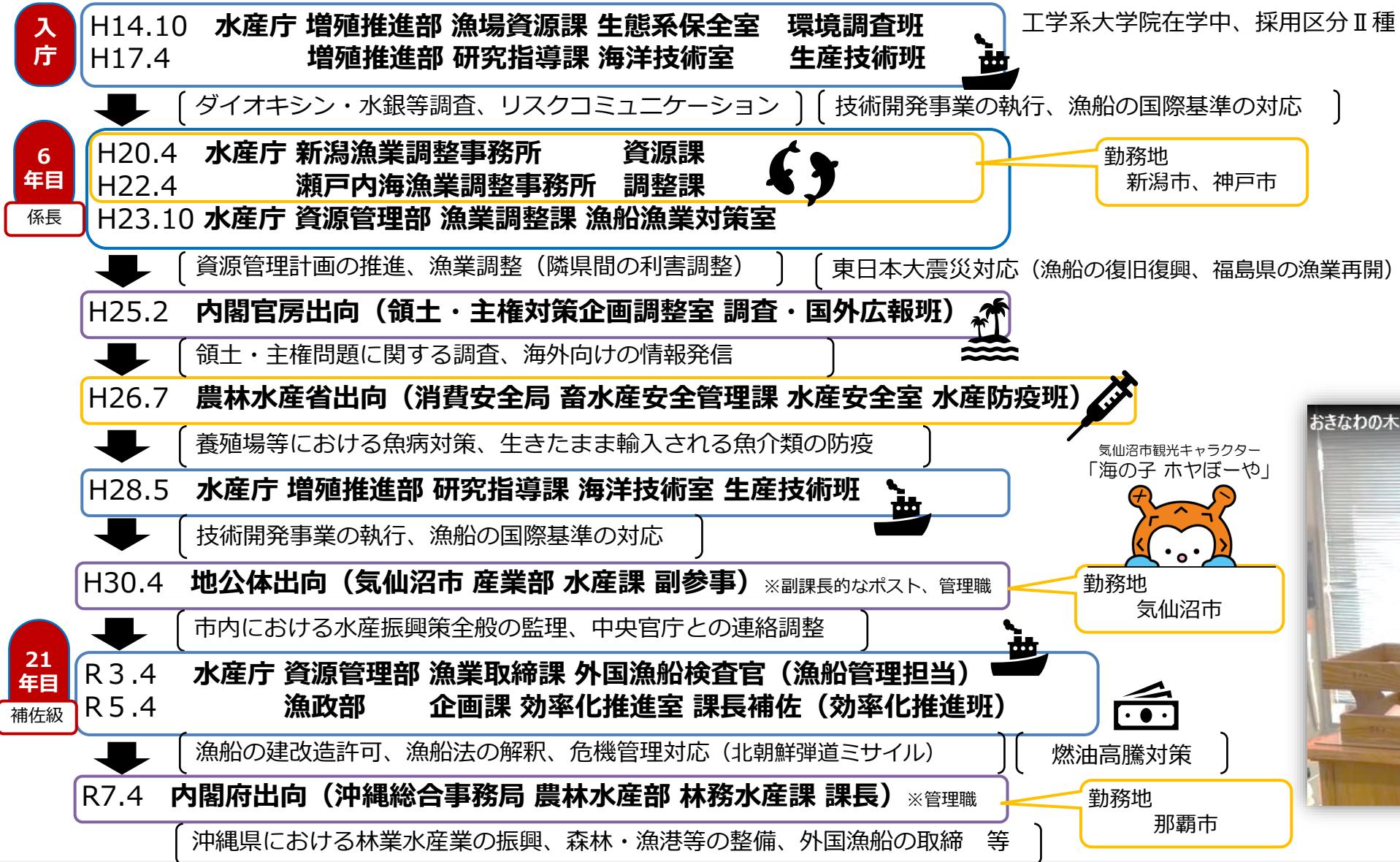
（日本産農林水産物・食品の輸出、企業の海外進出支援）



15年目

機電系技官のキャリアパス

～24年目 中堅職員Cさんの場合～



入庁～R7.10 (23年間)
都内勤務 16年
都外勤務 7年
(4か所、転居6回)
水産庁勤務 約17年
庁外出向 約6年



沖縄総合事務局 林務水産課で制作中の広報動画より

水産庁に少しでも興味を持ったら

国家公務員の採用試験を受けてみませんか？

- ❖ 公務員試験課題は専門家が手をかけて作成しており、無料で受験可能
- ❖ 全国各地を会場として試験を実施しており、これまでの学びの成果の確認にも活用可能
- ❖ 例年1月頃に受験案内が掲載され、2月頃にインターネット等による受験申込期間が公表
- ❖ 公務員試験に合格した場合、合格発表日より5年間は国家公務員「採用候補者名簿」に掲載

国家公務員試験

採用情報NAVI (人事院HP)

国家公務員に興味を持った方に必要な情報を網羅的に掲載

一般職相当 (水産庁HP)

一般職相当の採用試験情報のみ水産庁HPに掲載



国家公務員試験
採用情報NAVI

国家公務員の紹介 採用情報 試験情報 説明会・セミナー よくある質問



Webからご覧のみなさま：青字を([Ctrl]+)クリックでリンク先が確認できます

水産庁
JAPAN FISHERIES AGENCY

相談窓口

水産庁採用担当（機電系）

- 直通：03-6744-1581
- 人事担当メール
jinji_suisan@maff.go.jp

メール(採用相談)



- ホームページURL
<https://www.jfa.maff.go.jp/j/recruit/>

HP(採用情報)



～面談希望、質問等、お気軽にどうぞ！～